

関係機関からのヒアリング及び湾・灘ごとの状況整理から導き出された瀬戸内海における水環境及び水産資源等に係る主な課題

1. 水質の保全及び管理

※1. ~4. は瀬戸内海環境保全基本計画の4つの柱を表す

①夏季の赤潮・貧酸素水塊の発生と底生生物の種類数・個体数が極端に少ない海域の存在【大阪湾(湾奥)等】

→水質は改善傾向で赤潮の発生件数は減少傾向であるが、大阪湾奥部等の一部の水域では夏季に貧酸素水塊等が発生しており、底質の生物の種類数・個体数が極端に少ない状況である。

②停滞水域における高濃度の栄養塩の偏在【大阪湾(湾奥)等】

→大阪湾奥部等では埋立地等が入り組み高濃度で栄養塩が偏在しており、貧酸素水塊等の問題が発生している。

③一部水域におけるCODの環境基準の未達成【播磨灘、備後灘等】

→陸域におけるCOD、N・Pの発生負荷量は減少傾向にあるが、CODの環境基準を達成していない水域が一部存在している。

④魚類養殖が行われている海域における赤潮の発生【播磨灘南部、豊後水道等】

→豊後水道では夏季の赤潮の発生件数が増加。播磨灘南部、周防灘、豊後水道等で近年も夏季の赤潮の発生に伴う養殖魚介類のへい死等の被害が発生している。

⑤栄養塩類の減少と大型珪藻との栄養塩類を巡る競争に伴うノリ等の色落ち【播磨灘、備讃瀬戸等】

→栄養塩濃度の低下及び水温の上昇等による植物プランクトンの種組成の変化により、冬季に大型珪藻(*Eucampia*属/ユーカンピア属)が優占するようになり、栄養塩類を巡る競争が起こり、養殖ノリ等の色落ち被害が発生している。

栄養塩類の減少が一部のプランクトン食性魚の餌環境等の低次生態系に影響を及ぼしている可能性【播磨灘】

→これまでの研究成果や検討等から、栄養塩濃度が大きく減少している播磨灘東部におけるイカナゴ資源に対して、栄養塩、植物プランクトン、動物プランクトン等の餌環境といった低次生態系の変化が影響を与えている可能性があることが示唆された。

⑥その他の水産資源を巡る課題（アサリの餌環境等に及ぼす影響の要因の解明、カキ養殖における採苗不良及び生育不良の要因の解明等）

【広島湾、周防灘南部等】

→水産資源の変動に与える環境要因としては水温、海流、餌環境等があるが、現在、水産研究所や関係府県の水産試験場等の関係機関により瀬戸内海を主要なフィールドとして栄養塩が一次生産を通じてより高次の水産資源に与える影響の調査等が進められている。

4. 水産資源の持続的な利用の確保

2. 沿岸域の環境の保全、再生及び創出

○藻場・干潟の減少

○直立護岸が多く生物生息場が少ない

平成31年度にヒアリング
を実施し整理

3. 自然景観及び文化的景観の保全

平成31年度にヒアリングを実施し整理

(参考)水環境及び水産資源等に係るヒアリング結果の概要

	水環境に係る課題
大阪湾	湾奥部における夏季の貧酸素水塊の発生【大阪府】
	湾奥部の停滞水域における栄養塩の偏在【大阪府、瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議】
播磨灘	Ⅱ類型水域の窒素濃度はⅠ類型の環境基準と同程度で推移【兵庫県、兵庫県漁連】
	窒素濃度の低下【兵庫県漁連】
	播磨灘南部の魚類養殖場における赤潮の発生【香川県、香川県漁連、全国海水養魚協会】
	A類型水域(播磨灘南部)におけるCODの環境基準が未達成【香川県】
備讃瀬戸	Ⅱ類型水域の窒素濃度はⅠ類型の環境基準と同程度で推移【広島県】
	A類型水域(備讃瀬戸(イ))におけるCODの環境基準が未達成【香川県】
備後灘	A類型水域(燧灘東部)におけるCODの環境基準が未達成【香川県】
燧灘灘	窒素濃度の低下【愛媛県漁連】
広島湾	CODの環境基準が未達成【広島県】
周防灘	窒素濃度の低下【山口県漁協、大分県漁協】
豊後水道	魚類養殖場における赤潮の発生【愛媛県、大分県、愛媛漁連、全国海水養魚協会】
	水産資源に係る課題
大阪湾	貝毒の発生【大阪府、瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議】
播磨灘	水産資源(播磨灘北東部のイカナゴ)の減少【兵庫県、兵庫県漁連】
	ノリの色落ち【兵庫県漁連】
	播磨灘南部の魚類養殖場における赤潮の発生【香川県、香川県漁連、全国海水養魚協会】
備讃瀬戸	ノリの色落ち【香川県、広島県】
燧灘灘	ノリの色落ち【愛媛県漁連】
広島湾	カキ養殖における採苗不調及び生育不良【広島県】
周防灘	水産資源(アサリ類)の減少【大分県漁協】
	ノリの色落ち【山口県漁協、大分県漁協】
豊後水道	魚類養殖場における赤潮の発生【愛媛県、大分県、愛媛漁連、全国海水養魚協会】

※【 】内は第11回及び第12回の瀬戸内海環境保全小委員会におけるヒアリング団体